

～失敗しないための計画チェックシート付き！～

法人PCリプレイスの

最適な時期と調達手段とは？

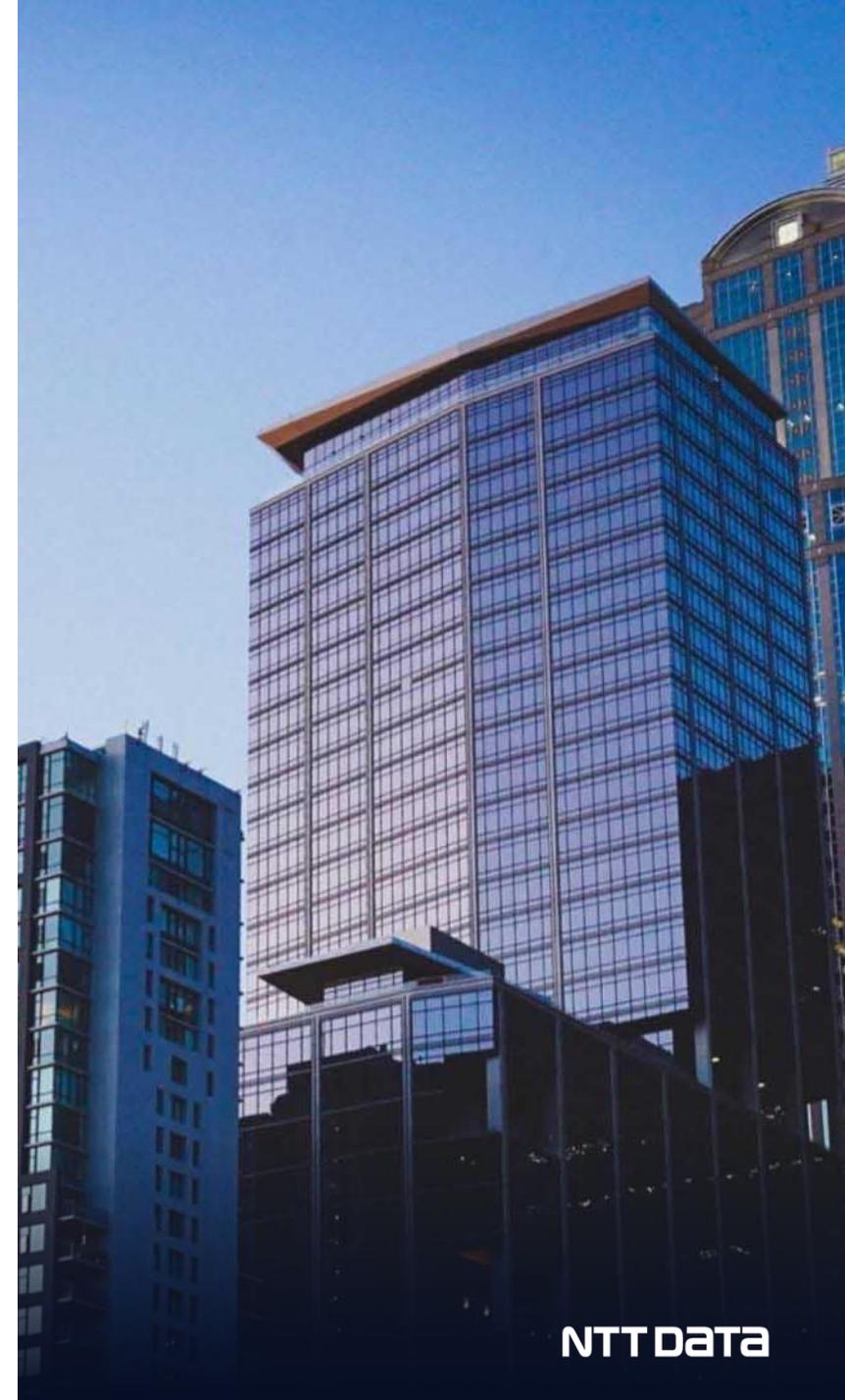
株式会社NTTデータ ウェーブ
ICTソリューション事業部 デスクトップサービス部



Wave PC Mate

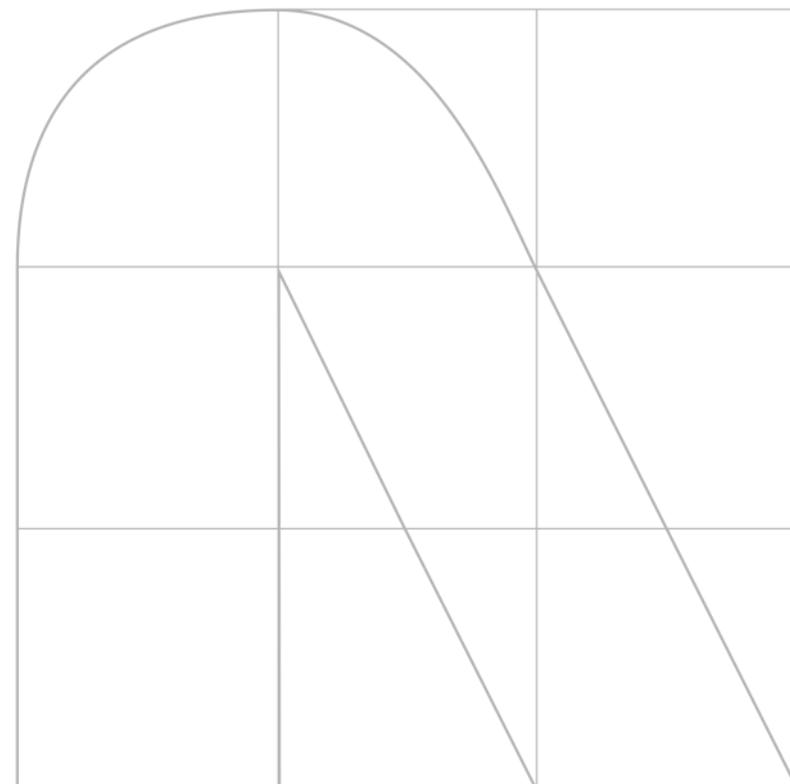
目次

01	■ PCリプレイスの適切なタイミングと調達方法 3
	<ul style="list-style-type: none">• PCリプレイスのタイミングは3年がベスト？• PCの調達方法と特徴• PCリプレイスに伴う企業の大きな負担	
02	■ PCリプレイス計画におけるチェックポイント 7
	<ul style="list-style-type: none">• PCリプレイス計画チェックシート• 計画ポイント①：リスクを考慮する• 計画ポイント②：リプレイスしたPCのライフサイクルを把握する• 計画ポイント③：負担を軽減でき信頼できる外部委託先を選定する	
03	■ PCリプレイスをトータルサポートする「Wave PC Mate」 12
	<ul style="list-style-type: none">• NTTデータ ウェーブが提供する「トータルアウトソーシングサービス」• 法人PCリプレイスの負担・コストを削減する「Wave PC Mate」の特長	
04	■ 会社概要・お問合せ 15



01

PCRリプレイスの適切なタイミングと調達方法



PCリプレースのタイミングは3年がベスト？

企業で利用されるPCは、劣化や故障により生じるシステム・業務への悪影響を予防・改善するために、定期的に交換する必要があります。

このようにPCの交換を行うことを**PCリプレース**と言います。

PCは一般的に3年を超えると故障率が急増し、パフォーマンスも低下するため、**3～4年がリプレースとしての最適な時期**とされます。

PCリプレースが必要な3つの理由

データの保全

ディスク(SSD/HDD)の故障によるデータ消失を回避するため

- PCにはディスク(SSD/HDD)やバッテリーなど消耗品が多く、経年劣化による故障やデータ保全の観点からリプレースが重要
- 特にディスク(SSD/HDD)はデータ保存を担うパーツであり、故障するとデータを消失する恐れがある



コスト面と作業面の効率性

修理コストを抑えるため 作業を効率化し消費電力を抑えるため

- 古いPCは対応パーツが少なく、故障時の修理コストが高む
- 古いPCは処理能力が低く、消費する電力も新型PCと比べ多くなり作業面・コスト面ともに非効率



利便性の向上

バッテリーの摩耗による 駆動時間低下を解消するため

- バッテリーは摩耗すると充電しても駆動時間が短くなったり、性能が落ちることがある



データの保全、コスト、利便性の観点から、3～4年ごとのPCリプレースは不可欠

PCの調達方法と特徴

PCの調達方法には、「購入」、「リース」、「レンタル」の3つの方法があります。

それぞれの特徴を理解し、PCの利用用途や調達後の管理方法も含めて、自社に合った調達方法を採用することが重要です。

購入・リース・レンタルの違いと特徴

	購入	リース	レンタル
コスト	初期費用が大きい	購入金額より利息分高い	購入金額以下を分割払い
キャッシュフロー	一括支払い	分割支払い	分割支払い
契約期間	-	2～5年	1～5年
減価償却	必要(法定対応年数など)	不要	不要
解約	-	不可(残リース料を一括支払い)	可能(期間に応じて差額調整金支払い)
固定資産税・動産保険等	お客様負担	リース会社負担	レンタル会社負担
修理費用	メーカー保証期間外はお客様負担	メーカー保証期間外はお客様負担	レンタル会社負担
廃棄対応	お客様対応	リース会社に返却	レンタル会社へ返却
会計処理・法人税	オンバランス(資産計上)	オンバランス(資産計上)	オフバランス(経費処理)

メリット

- 長期利用するとリースやレンタルよりも割安

- 初期投資が抑えられる
- 長期利用するとレンタルよりも割安

- 初期投資が抑えられる
- 故障時に代替品と交換ができる
- 途中解約ができる

デメリット

- 購入時の一括支払いが高額になる
- 固定資産として帳簿に載せることが必要

- 基本的に途中解約ができない
- 故障修理が自己負担

- 長期利用すると購入やリースよりも割高
- 機種や台数に制限がある場合もある

PCリプレイスに伴う企業の大きな負担

PCリプレイス時には、新しいPCのセットアップや既存PCの回収、重要かつ膨大な量のデータ移行などの負担がかかります。

この作業を利用者自身が行うのか、または作業員が行うのかも検討すべき事項です。

情シス部門が主導するケースが一般的ですが、多くの手間が見込まれるため、**外部ベンダーに業務委託することが有効**です。

PCリプレイスに伴う2つの大きな負担

大量のPCのセットアップ・管理

大量に調達したPCのセットアップ、IDの割り当て管理や既存PCの回収などに大きな負担がかかる



膨大なデータの移行・削除

データの一時保管方法や場所、手順の確認、移行後の削除などのサポートを情シス部門が行う必要があり、情シス部門に多くの負担が集中する



PCリプレイスを外部ベンダーへアウトソーシング

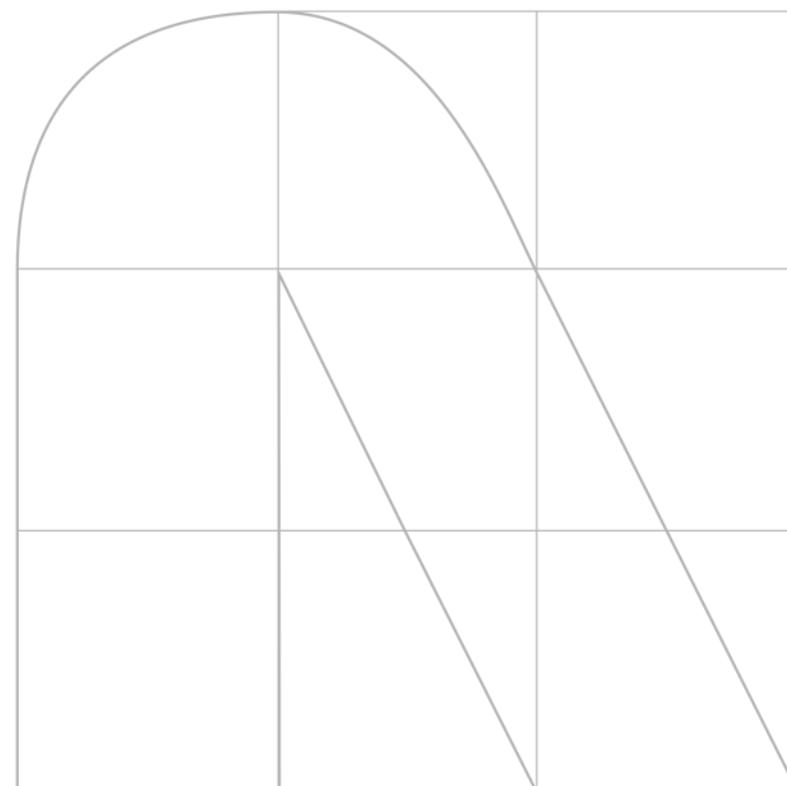
専門ベンダーに委託できるため、**スムーズなリプレイスができ、情シス部門の業務負担軽減と生産性向上が期待できる。**



▶次章ではPCリプレイス計画時のポイントや導入前に確認しておきたいチェックポイントをご紹介します。

02

PCRリプレイス計画における チェックポイント



PCリプレイス計画チェックシート

法人PCをリプレイスする際に押さえておくべきポイントとして、PCリプレイスに関する情報を整理することが重要です。
また、現PCの課題や運用方法なども把握しておくことで、必要な機能やスペックを満たした適切なPCを導入することができます。

PCリプレイスを計画する際には、以下の項目を確認しておくことが重要です。

PCリプレイス計画時に確認すべき重要項目

①	現PCのライフエンドの確認をする	購入の場合は保守期限、リース/レンタルの場合は契約期限を確認する。	<input type="checkbox"/>
②	計画策定にあたり、業務の繁忙期を避ける	業務の繁忙期のリプレイスは利用者がネガティブになり円滑に進まないことが予想されるため、繁忙期は避けるようにする。	<input type="checkbox"/>
③	スケジュール作成にあたり、業務検証をする	可否を検討し、要の場合は検証期間の確認をする。	<input type="checkbox"/>
④	新PCの納品のタイミングの確認をする	大量のPC調達は、納品までのリードタイムを有する可能性があるため、事前に確認する。	<input type="checkbox"/>
⑤	新PCと現PCの差異を確認する	例えば、Windows10→Windows11に替わる場合などに、ユーザートレーニングをする必要や運用変更点があるかの確認をする。	<input type="checkbox"/>
⑥	新PCの機器仕様、必要台数の整理をする	必要な機能・スペックや台数を確認する。	<input type="checkbox"/>
⑦	機器情報の整理をする	コンピュータ名、IPアドレスなどの確認をする。	<input type="checkbox"/>
⑧	新PC配備の作業内容を整理する	スムーズにセットアップができるように作業内容を整理する。	<input type="checkbox"/>

▶次頁以降では、リプレイス計画時に注意しておきたいポイントを3つご紹介します。

計画ポイント①:リスクを考慮する

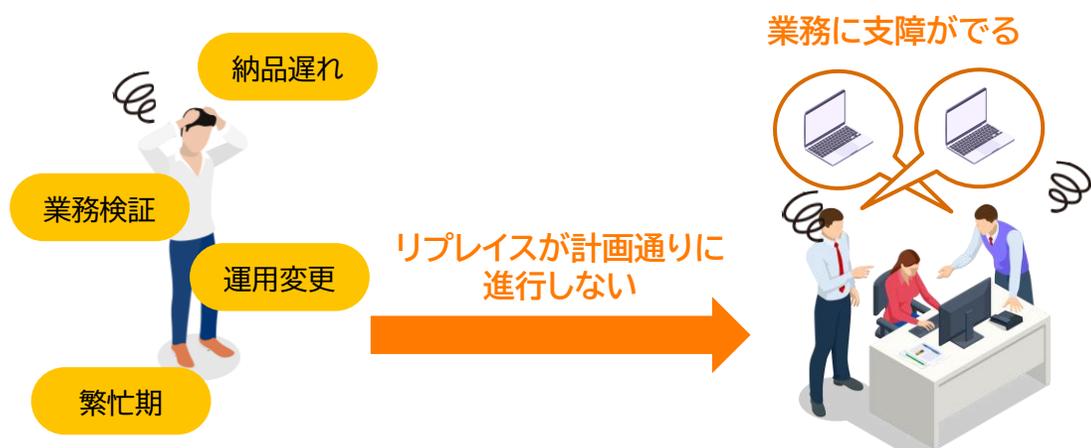
1つ目のポイントは、計画通りにすべてが進行するとは限らないことを踏まえて、計画を立てることで

不測の事態に備え、予備日を設定するなど余裕を持たせたリプレーススケジュールを策定することが重要です。

予期せぬトラブルが発生した際にも、リプレースを中断し、トラブルの原因を除去したのちに再度リプレースを行うことができます。

PCリプレースによるリスクを考慮した計画を立てる

スケジュールが逼迫している状態



リスクを考慮せずに計画を立てると、予期せぬトラブルが発生したときに対応が遅れ、会社全体の生産性に影響する。

理想の状態



スケジュールに余裕を持たせると、不測の事態が起きてもトラブル対応が十分にでき、その後も円滑に業務が行える。

計画ポイント②:リプレイスしたPCのライフサイクルを把握する

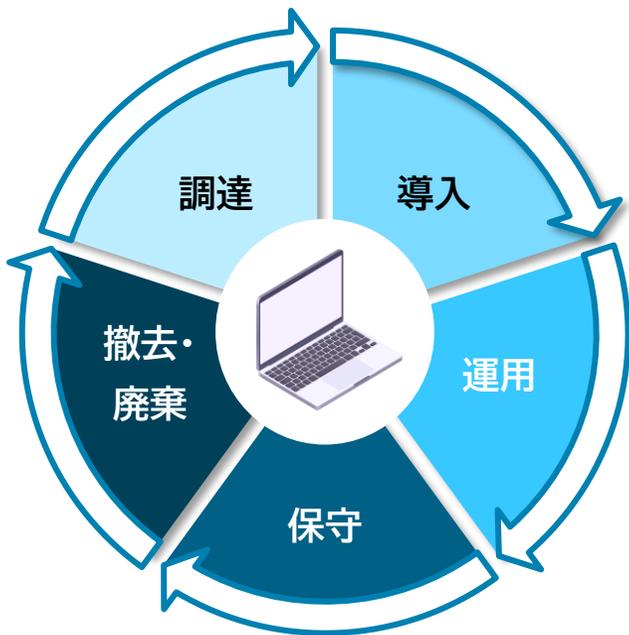
2つ目のポイントは、新しいPCの調達から、導入、運用、保守、撤去・廃棄に至るライフサイクルを把握することです。

さらに、ライフサイクルのそれぞれの工程で、どのような管理業務が発生するのかを事前に把握(見える化)することが重要となります。

これにより、**今後いつ・どのPCをリプレイスするか**の計画策定が容易になり、**業務の無駄を解消**することができます。

リプレイスした新しいPCのライフサイクルと管理業務を把握する

PCのライフサイクル



それぞれの工程で発生する管理業務

調達



- 業務で使用するハードウェアの選定
- 購入・リース・レンタルなどの方法による調達

導入



- PCの運用・環境設計やキittingなどのセットアップ
- 各社員へのユーザID割り当てなどのID管理
- 社員からの問い合わせ対応の準備

運用



- PCのソフトウェア管理、棚卸、資産管理
- アップデート情報の確認、対応
- 社員からの問い合わせ対応

保守



- 自社のセキュリティポリシーに合わせたセキュリティ対策の実施
- PCの故障対応

撤去・廃棄



- PCの回収
- 個人情報や機密情報などのデータの消去
- PCの撤去・廃棄業者の選定

ライフサイクルごとの業務を見える化することで、今後のPC管理業務において、無駄のない計画を策定

計画ポイント③:負担を軽減でき信頼できる外部委託先を選定する

3つ目のポイントは、スムーズにリプレイスを行えるように、信頼のできる外部委託先を選定することです。

これにより、情シス部門はシステム構築やIT戦略策定など、本来力を入れるべき業務にリソースを割けるようになり、組織全体の生産性向上を図ることができます。

信頼できる外部委託先を選定する

リプレイス時の業務負担を抑えるために、以下の2つの点を確認することが重要

1 マルチベンダー対応ができるか

機器仕様や保守条件などの要件に合わせて適切に提案してもらえるか



2 PCのセットアップ~デリバリーまでをまとめてアウトソーシングできるか

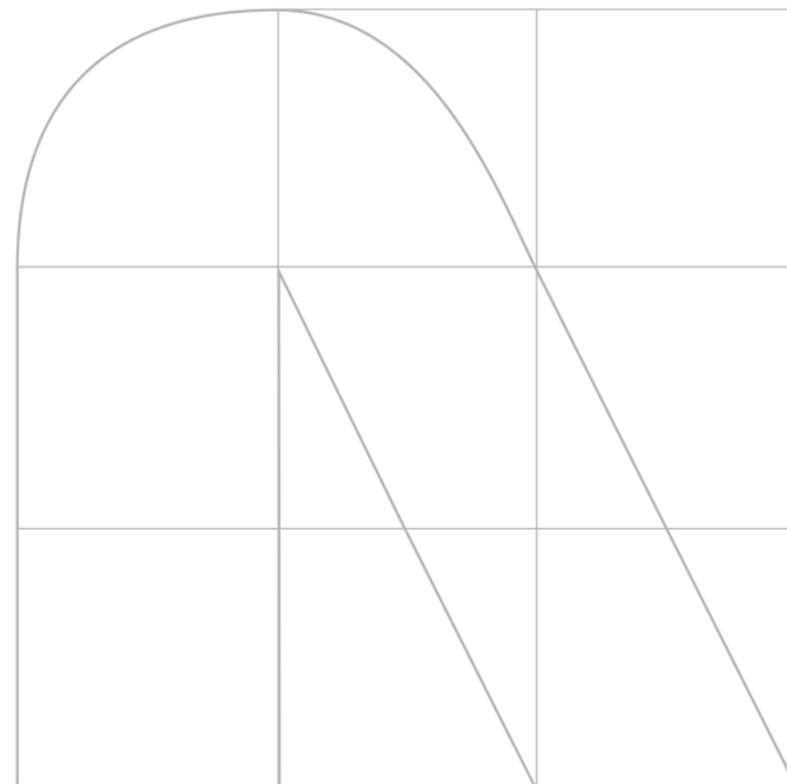
自社の固有の環境に合わせて効率的に対応してもらえるか



▶次章ではPCリプレイスをサポートをするサービスをご紹介します。

03

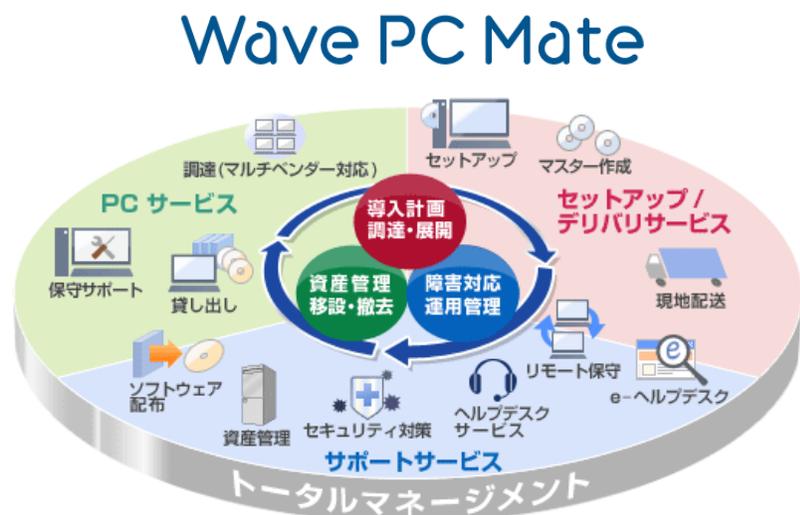
PCリプレイスをトータルサポートする 「Wave PC Mate」



NTTデータ ウェーブが提供する「トータルアウトソーシングサービス」

ハードウェアの提供から運用管理、撤去までの全体的なサービスを提供するのがNTTデータ ウェーブの「Wave PC Mate」です。本サービスは、法人PCリプレイスや、業務負担の大きいPC運用管理業務をトータルでアウトソーシングできるため、**情報システム担当者の業務負担の低減を実現**します。

PCの導入から運用サポートまでのトータルアウトソーシングサービス「Wave PC Mate」



◆ 本サービス 概要ポイント

1

最適なPCおよび周辺機器を
利用期間にあわせた**月額費用**で提供



2

お客様それぞれの固有の環境に
セットアップした状態でPC機器を提供



3

ヘルプデスク、セキュリティ対策
資産管理など**トータルでサポート**



NTTデータ ウェーブのPCの調達から導入、運用、保守、撤去・廃棄までを行う「Wave PC Mate」を利用することで

PC運用管理にかかわる情報システム担当者の業務負担を軽減することが可能

法人PCリプレイスの負担・コストを削減する「Wave PC Mate」の特長

Wave PC Mateにより、法人PCリプレイス時の負担と投資を低減できるだけでなく、運用管理工数も削減することが可能です。特長として、「PC調達のマルチベンダー化」、「PCのセットアップ～デリバリーまでの工数削減」、「一時的な初期投資をなくしてオフバランス化(費用化)を可能にすること」があります。

法人PCリプレイス時の業務負担・投資コストを抑えるWave PC Mateの3つの特長

PC調達を マルチベンダー対応

用途



要件

価格



お客様のご要件・用途に合わせた機種を複数選定して
安価にご提供いたします。
機器調査や比較検討時間を削減することができます。

PCのセットアップ～デリバリーまでを アウトソーシング



PCのセットアップ～デリバリーまでを
アウトソーシングすることで、システム管理者の工数を
大幅に削減することが可能になります。

一次的な初期投資をなくし オフバランス化(費用化)できる

購入・リース

Wave PC Mate



¥

購入費用・セットアップ費用など



¥

月額サービス料金のみ

「購入・リース」から「月額サービス(Wave PC Mate)」に
切り替えることで、一時的な初期投資をなくし、
オフバランス化(費用化)することができます。

会社概要

株式会社NTTデータ ウェーブについて

コンサルティングから企画・提案、構築、導入、運用・改善のシステムライフサイクルの各フェーズに一貫して対応するとともに、業務アプリケーション構築、インフラ環境の整備なども含め各種サービスを提供しております。

会社名	株式会社エヌ・ティ・ティ・データ・ウェーブ NTT DATA WAVE CORPORATION
本社	東京都渋谷区千駄ヶ谷1丁目14番5号 千駄ヶ谷インテス
設立	2002年8月
資本金	1億円
株主	株式会社NTTデータ 80.1% 日本たばこ産業株式会社 19.9%
社員数	446名（2023年4月1日現在）
売上高	127億円（2022年度連結実績）
認定登録	EMS認証取得 EC99J1048 / ISO (JIS Q) 14001  ISMS認証取得 IS 88431 / ISO (JIS Q) 27001  ISMSクラウド セキュリティ認証取得 ISO/IEC 27017:2015  プライバシーマーク 認定取得  くるみん 認定取得 

本資料についてのお問い合わせやご相談は
下記までご連絡ください。



URL

<https://wavepcmate.com/contact/>

株式会社NTTデータ ウェーブ
ICTソリューション事業部 デスクトップサービス部 営業担当



TEL

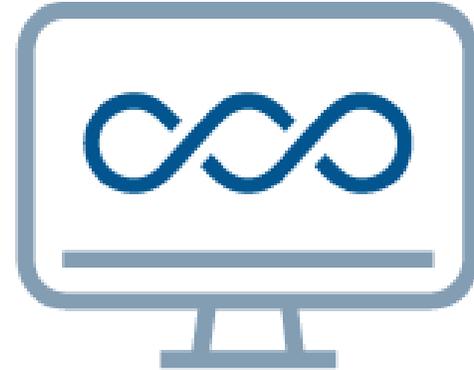
03-6833-5981



Mail

pcmate_ndwave@nttd-wave.com

NTT DATA



Wave PC Mate

手間なく、快適に、安全に！ PC運用管理はプロにお任せ。

*本資料は2023年10月時点で作成したものです。

*本資料を弊社の許可なく第三者へ配布することはご遠慮ください。